

ICT等を活用した取り組みの現状と将来像

方向性	目標	取り組みの現状	取り組みの将来像 (開発するシステム等)
河川、河川管理施設等の監視、操作の省力化・自動化	施設操作の合理化	機側による操作	施設操作の自動化・省力化システムの整備
	堤防・施設の維持、施設の計画的な更新・維持修繕	巡視や点検、CCTVカメラによる状況把握	堤防・施設、危険箇所の監視、点検、履歴管理システムの整備
	水防団の活性化	巡視や点検、CCTVカメラによる状況把握	河川空間自動監視システムの整備
	迷惑バイク、ゴミ不法投棄への対策、河川巡視の合理化	巡視や点検、CCTVカメラによる状況把握	河川空間自動監視システムの整備
	迷惑ゴルフ、ホームレス、不法工作物への対策 河川環境の保全、水質監視	水質自動監視装置を用いた監視、計測	水質自動監視装置、CCTVカメラ等による河川環境の監視
平常時・非常時における河川情報の提供・共有の強化	いつでも、どこでも、誰にでも、受け手の立場に立った河川情報を提供	インターネット（PC版、携帯版）による河川情報提供	ユビキタス河川情報提供システム（仮称）の整備
	土砂災害発生危険度に関するきめ細かい情報提供による迅速な避難	土砂災害警戒情報の発表	高精度土砂災害警戒システムの整備
	市町村による災害時要援護者等の避難誘導の実施	市町村がハザードマップを作成し、公表	災害時要援護者等の避難誘導支援ナビゲーションシステムの開発（市町村が整備）
	河川舟運の安全確保、舟運の利用拡大	河川情報表示板等による情報提供	河川舟運ナビゲーションシステム（仮称）の整備
現地でのきめ細かな河川情報の提供による河川の安全確保、河川利用者の拡大	試行的に河川散策者への現地での情報提供を実施	河川情報ゲートシステム（仮称）の整備、「かわ」の環境博物館（仮称）の整備、砂防フィールドミュージアムの整備	
予測技術の向上	高精度な洪水予測の実施	レーダ雨量計を活用した分布型洪水予測システム（直轄河川で整備中）	中央洪水予測センター（仮称）の整備
	氾濫流の動的把握、的確な氾濫予測の実施	リアルタイム動的氾濫予測システム（直轄河川で整備中）	衛星、ヘリコプター、センサーネットワーク等による氾濫流の状況把握
	火山活動の状況に応じたハザードエリアの見直し	火山ハザードマップにより危険区域を住民に周知	「火山のリアルタイムハザードマップ」の整備
	高精度の台風・集中豪雨予測を活用した施設運用、防災活動の実施	リアルタイムデータを用いた洪水調節の実施等	降雨予測を活用したダム洪水調節効果の向上等
双方向コミュニケーションによる地域との連携	双方向の情報の収集、提供による大幅な河川管理の効率化	ICTを活用した防災訓練の実施 GISを活用した災害情報プラットフォームの試行的運用	双方向型河川情報プラットフォームの整備
河川に関する諸データの利用促進に資するプラットフォーム、データベースの構築	データの品質確保、データベースの活用促進、河川計画業務の効率化、維持管理の効率化、情報公開	水文データ、河川環境、ダム環境などのデータベースを公開（水情報国土データベース）	河川に関するデータベースの認証、蓄積、公開のサイクルの確立（水情報国土データ管理センターの拡充）
各システムの共通化・標準化とそれを支える技術開発・体制整備			